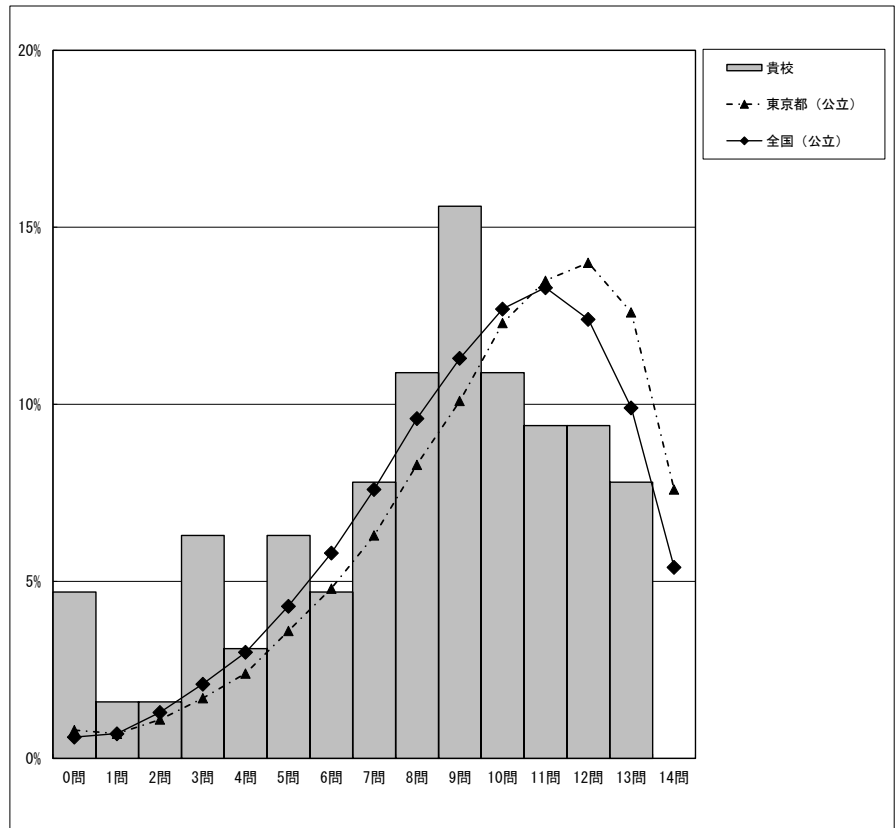


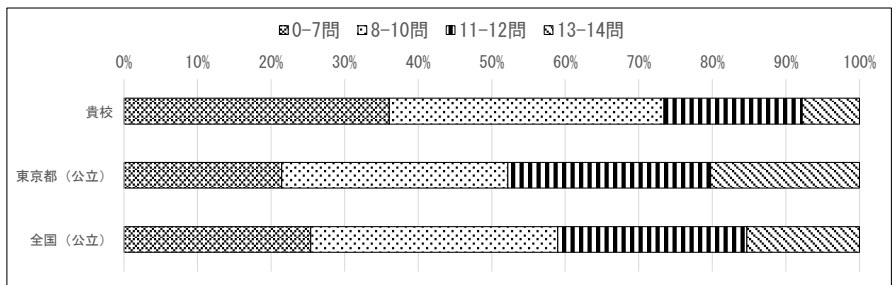
・以下の集計値／グラフは、4月17日に実施した調査の結果を、児童を対象として集計した値である。
※ただし、4月17日に調査を実施していない学校については、4月18日以降4月30日までに実施した調査の結果を集計した値とする。

	児童数	平均正答数	平均正答率 (%)	中央値	標準偏差
江戸川区立二之江第二小学校	64	8.0 / 14	57	9.0	3.5
東京都（公立）	93,881	9.8 / 14	70	10.0	3.1
全国（公立）	936,137	9.4 / 14	66.8	10.0	3.0

正答数分布グラフ（横軸：正答数 縦軸：割合）



正答数ごとの層分布（全国四分位）



正答数集計値				
正答数	児童数	割合 (%)		
	貴校	貴校	東京都 (公立)	全国 (公立)
14問	0	0.0	7.6	5.4
13問	5	7.8	12.6	9.9
12問	6	9.4	14.0	12.4
△ 11問	6	9.4	13.5	13.3
◇ 10問	7	10.9	12.3	12.7
◇ 9問	10	15.6	10.1	11.3
8問	7	10.9	8.3	9.6
7問	5	7.8	6.3	7.6
▽ 6問	3	4.7	4.8	5.8
5問	4	6.3	3.6	4.3
4問	2	3.1	2.4	3.0
3問	4	6.3	1.7	2.1
2問	1	1.6	1.1	1.3
1問	1	1.6	0.7	0.7
0問	3	4.7	0.8	0.6

※今回の調査での四分位は以下の通りでした。

	貴校	東京都 (公立)	全国 (公立)
△ 第3四分位	11.0問	12.0問	12.0問
◇ 第2四分位	9.0問	10.0問	10.0問
▽ 第1四分位	6.0問	8.0問	7.0問

上記の通り、令和7年度の平均正答率は、東京都平均から13ポイント、全国平均から9.8ポイント下回っている。観点別にみると、東京都平均から「知識・技能」は10.2ポイント、「思考・判断・表現」は13.2ポイントの落ち込みが見られた。特に、知識・技能の内容である「言葉の特徴や使い方に関する事項」については、東京都平均から13.8ポイント低い。

しかし、「情報の扱い方に関する事項」については、東京都平均から0.3ポイント高かった。

今後の授業実践の中では、基礎的・基本的な学習内容の定着がしっかりできるように、漢字や言語の習得時間を増やしたり、教科書等の音読を重視し、読むことを中心に学習を進めたりする。また、文章を読んでまとめた意見や感想を共有し自分の考えを広げたり、自分の考えが伝わりやすいように書き表し方を工夫したりする学習を増やしていく。